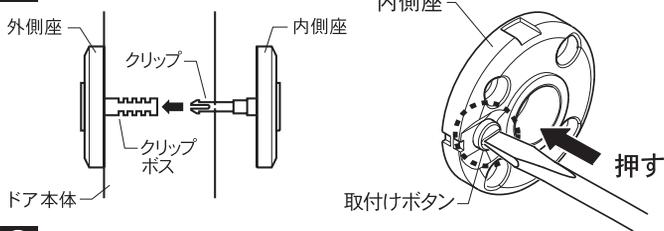
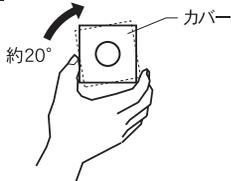


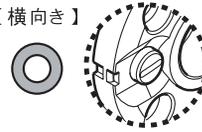
## 1 台座を取り付ける



## 2 カバーを取り付ける



取付けボタンの向き【横向き】



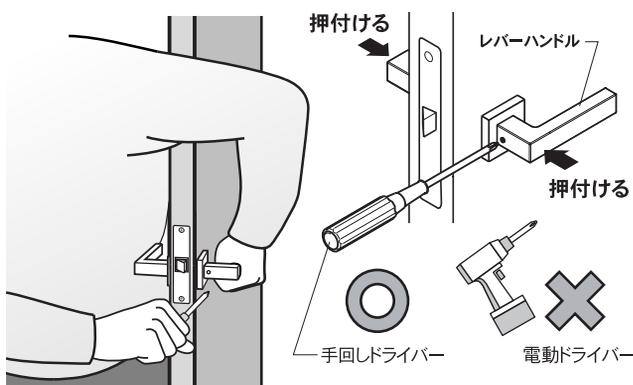
【縦向き】



- ① 外側座を箱錠のスロット穴に差込む。
- ② 内側座の取付けボタンが横向きになっていることを確認する。
- ③ 内側座のクリップを外側座のクリップボスに合わせて差込む。
- ④ 取付けボタンを指(またはマイナスドライバー)で押し込む。
- ⑤ カバーの左右をつかんで、約20°時計回りにまわして座に取り付ける。

**お願い** ※クリップとクリップボス(穴のあるボス)の中心位置を合わせてください。位置が悪いと差込むことが出来ず、クリップが破損する恐れがあります。  
※必ずボタンを押し込んでください。押し込まないと台座のガタツキの原因になります。

## 3 ハンドルを取り付ける

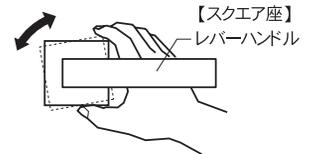


- ⑥ 両側のレバーハンドルを箱錠の角穴に差込む。
- ⑦ 両側からレバーハンドルを押し付けながら、取付ねじで固定する。

**お願い** ※必ずハンドル軸部を手と腰で押付けながら、止めねじで固定して下さい。押付けないとハンドルの前後のガタツキの原因になります。

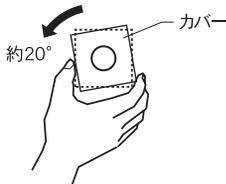
- ⑧ 座の位置(中心度)、姿勢(水平度)を手で修正する。

※座はバネの力により両側の座でドア本体をはさみ込んでいます。



- 水平にする(スクエア座の場合のみ)
- レバーハンドルと座の中心を合わせる

## 把手の取り外し



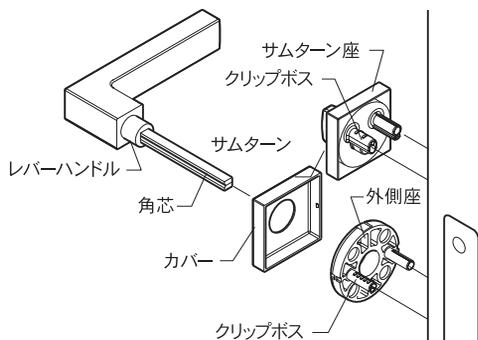
【横向きから】



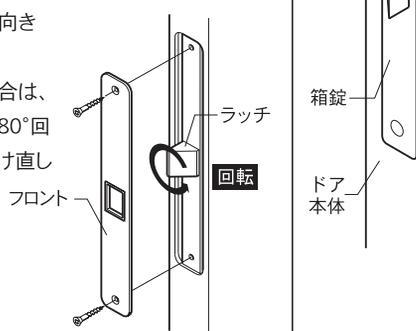
【縦向きに】



- ① 取付けねじを外して、レバーハンドルを外す。
- ② カバーを反時計回りにまわして外す。
- ③ 内側座の取付けボタンの溝にマイナスドライバーの先端を差込んで、押しながら溝を縦向きに回転させる。
- ④ 両側の座を外す。



※箱錠のラッチは右吊元の向きになっています。  
左吊元として使用する場合は、フロントを外し、ラッチを180°回転させた後、フロントを付け直してください。



## メンテナンスの注意

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布又は化学ぞうきんでから拭きしてください。
- ひどい汚れ又は落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんでふき取ってください。

